

# 五木地域における林業の成長産業化に向けたロードマップ（改訂版）（案）

重点課題	7つのアクション	これまでの主な成果	31年度	32年度	33年度
3. コストの低減と収益の確保	①森林情報の共有・活用	・共通図面の作成、GIS化 ・立体図の導入	図面の継続的な更新、 情報管理システムの構築		
	②路網整備の戦略的展開	・路網の連結 ・中長期的な路網計画の検討 ・鉄鋼スラグの活用 ・路網設計支援ソフトの活用	施業に必要な路網整備を、順次、実施		
	③生産・流通コストの低減	・民国連携システム販売の実施 ・中間土場の活用 ・タワーヤーダ現地検討会 ・ドローンによる架線設置	高性能林業機械の共同 運用の調整	調整ができ次第、共同運用を開始	
			原木の共同輸送(トラック共用等)の検討		
	④主伐から造林・保育に係るトータルコストの低減	・コンテナ苗の生産、導入 ・一貫作業システム現地検討会 ・シカ対策協定締結	コンテナ苗の生産体制 の確立	順次、一貫作業システムを導入	
	⑤施業技術の開発・実証	・特定母樹の活用 ・低コスト試験地現地検討会	低コスト施業技術の実証	実証されたものから、順次、導入	
	⑥林業事業体の育成	・日報管理の実施 ・事業量の公表	立木販売情報の公表	事業の安定的な確保と計画的な事業実施	
⑦新たな需要への対応	・システム販売によるSCMの構築	原木供給予定とりまとめ、 安定的供給体制の構築 バイオマス利用推進	原木を安定的に供給		